

## 応力の顕著な変化(解放)

## 結 果

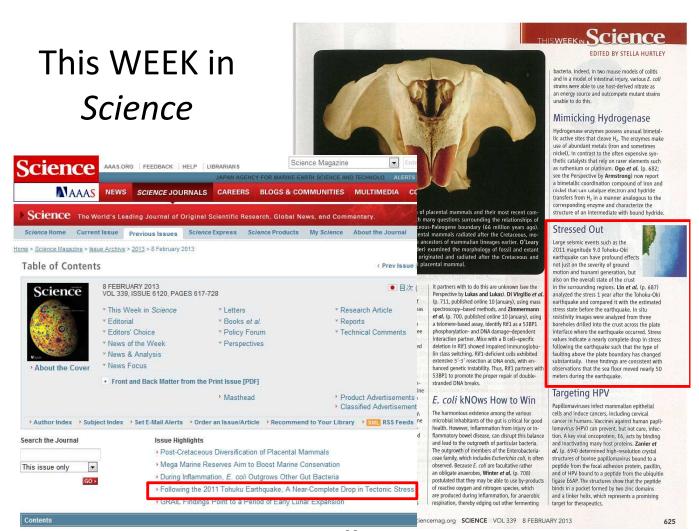
- 1) 地震前の逆断層型から正断層型(上盤の深部)
- 2) 断層面上のせん断応力が小さい → ほぼ完全な応力解 放(地震学的に、多くの地震は応力の部分的解放)

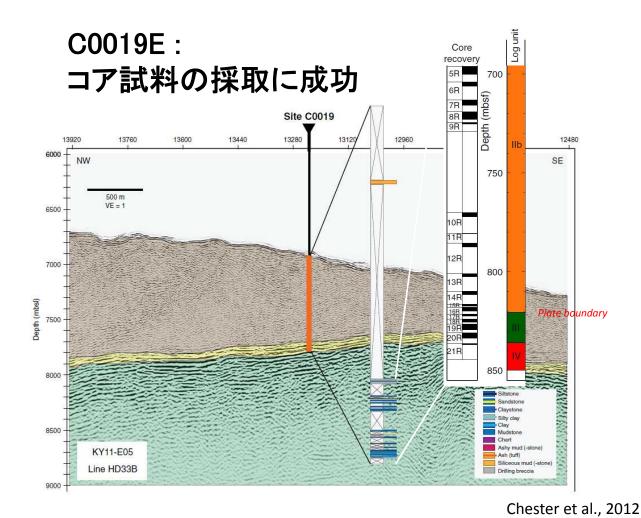
### 解釈

応力解放があったため:

▶海溝軸付近では応力とエネルギーが解放され、 断層すべり量の増幅につながった▶能動的にすべった

<u>Lin, W</u>. et al., Stress state in the largest displacement area of the 2011 Tohoku-Oki earthquake, *Science*, **339**, 687-690; 2013.





EXP.343

# コア試料の分配

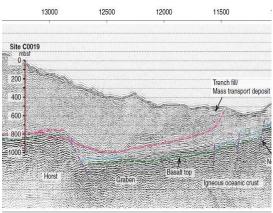




### 「JFAST-17」プレート境界断層試料

- 17回目のコア試料採取において海底下 821.5~824.0 mから回収
- 2.5 mの掘進で0.97 mの断層帯コア試料を回収(回収率38.8%)
- 太平洋プレートと北米プレートの境界断層帯の厚さが5m以下と判明
- 断層帯は強く破砕された遠洋性粘土質岩石
- 2011 年東北地方太平洋沖地震を発生させた断層の可能性が高い









## 断層物質を用いた各種研究 摩擦実験:すべりやすい特性

